

安倍晋三元総理大臣の暗殺を機に、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の悪事が暴かれ、自民党との関係が大きな問題となってきた。今月27日の故安倍元総理の「国葬儀（国葬）」を控えて岸田文雄内閣総理大臣（首相）立場が急速に弱くなりつつある。自らが「国会で説明する」として、閉会中審査でやりとりで幕引きを図ろうとしたが、その内容はこれまでの答弁を繰り返しただけ。野党第一党・立憲民主党の泉代表も「これでは判断できない話だ」とあきれ顔。国民の故安倍氏国葬への反対は強まるばかりだ。また、自民党内には杜撰な点検だけでなく、旧統一教会との接点の「中心人物」だった故安倍晋三総理や細野博之衆議院議長を含め「第三者による調査委員会」を設置して再調査すべきとの声さえ出ている。政府側は「安倍総理の国葬は内閣設置法と閣議決定に基づくもので、憲法7条の天皇の国事行為に基づく大喪の例とは違う」（木原誠二官房副長官）。「この国葬に関わる費用も約17億円は妥当な額」（松野博一官房長官）との立場だ。しかし、党長老は「岸田首相のやることなすこと後手ばかり。故安倍さんの国葬がこれからの政権運営のヤマになるかもしれない」との見方をする。11日に投開票された沖縄県知事選では、立憲民主党など野党が支持した玉城デニー氏が再選を果たした。同知事選挙では、党としての玉城氏推薦をしなかった国民民主党の大塚耕平代表代行は「今回は旧統一教会の問題が投票行動にかなり影響していると思う。与党にはダメージだろう」と分析した。13日の自民党総会でも石破茂元幹事長や村上誠一郎元内閣特命相らが「国葬とする場合は、主権者たる国民の代表である議会に諮って実施すべきだったのでは」とか「もっと手寧に決めるべきだった」と苦言が相次いでいる。これに対して、自民党の森山裕選対委員長は①玉城デニー知事は現職であり、現職の壁は厚かった。地方選挙の結果であり国政とは違う②沖縄では辺野古移転だけでなく、経済問題も関心が強かった③旧統一教会の問題は分析してみないと分からないなどと述べた。とはいえ、今後とも著しい円安是正が止まらず、更なる物価上昇は必至の様相だ。加えて旧統一教会の問題が收拾しない場合、「黄金の3年間」

なんて「見果てぬ夢」は既に過去の話。来年5月19日から3日間、岸田首相の地元・広島で開かれるG7サミット（先進国首脳会議）を首相の「花道論」が勢いついているが、「来年4月にある統一地方選挙」の結果次第ではというより早く、「故安倍総理の国葬次第では（岸田政権）が下り坂になるかもしれない」との声が党内に出始めた。

（憲）」

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インドのバフェット、ジュンジュンワラ氏逝く」

★★

8月14日、「インドのウォーレン・バフェット」と呼ばれた投資家のラケシュ・ジュンジュンワラ氏が死去しました。

彼は1980年代、インドの株価指数のSENSEXが150ポイントの頃に、5,000ルピー（約400米ドル）を元手に株式投資を始めました。その後SENSEXは上昇を続け現在では60,000ポイントに迫っています。彼の家族の資産は、その400倍の市場の値上がりと、彼の卓越した運用手法により58億米ドル（約8,000億円）にまで増えたと言われています。

ジュンジュンワラ氏の成功は、インドの個人投資家を株式投資の魅力に目覚めさせました。以下は彼が投資家に送った幾つかの投資のヒントです。

「インドを信頼していれば、長く株式市場に投資することができる。」

「あなたの忍耐は試されるだろう。しかし、あなたの信念は報われるだろう。」

「株は買う前に20回考える。売る前に50回考える。」

「何を買うかは慎重に決めるべきだが、本当にそんなに早く売る必要があるのかも十分に考慮すべきだ。」

「テーブルの上には沢山の料理が並んでいるが、自分が消化できる分だけ食べなさい。」

インドのマヒンドラ・グループ会長のアナンド・マヒンドラ氏は、ジュンジュンワラ氏が晩年に述べた以下のアドバイスが最も価値があると言っています。

「私の最悪の投資は自分の健康だ。みなさんには、健康に最大の投資をすることを奨める。」

ジュンジュンワラ氏は、心臓発作で62歳という若さで帰らぬ人になりました。

ここ数年は、自分が殆ど健康に気を使ってこなかったことを悔やんでいたようです。

マヒンドラ氏は更に、「私の記憶にいつも残っているのは、彼の揺るぎないインドへの愛国心と、断固としたインドへの信頼です」と述べています。

タタ・グループのラタン・タタ名誉会長も、「ラケシュ・ジュンジュンワラのインド株式市場についての鋭い理解と先見の明はいつも思い出されるだろう」と追悼の意を表明しています。

ジュンジュンワラ氏は亡くなる前の数日、「インドの黄金時代は始まったばかりだ」と一段と力を込めて繰り返していたそうです。

インドでは 75 回目の独立記念日の前日にインド市場の巨星が墮ちました。大変悼まれます。



ラケシュ・ジュンジュンワラ



アナンド・マヒンドラ



ラタン・タタ

★★

ムッシュ望月の今月の相場展望+映画

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★

1, 今月の相場展望：FOMC（9月20、21日）後は??
インフレ懸念による金利の上昇が市場に大きな影響を与えている。8月26日の米国市場では、FRBのパウエル議長がジャクソンホールでの講演で「物価の安定の為には引き締め政策を維持する必要がある」と述べたことで、ダウ平均株価は前日比1008ドル安（3%）、ハイテク株比率の高いナスダック指数は前日の終値に比べて3.9%下落した。ダウ平均の下落幅は5月18日の1164ドル安以来の下落幅となった。この下落では収まらず、9月13日にはダウ平均株価は前日比1276ドル（3.9%）安の31104ドル、1日の下落幅としては2020年6月以来2年3ヵ月2年3ヵ月ぶりの大きさとなった。同日発表の8月の米消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想の8.1%を超える8.3%を上回ったことで、FRBの大幅利

上げ継続や景気悪化から売りが膨らんだ。長期金利の指標となる10年国債の利回りは3.4%台半ばとなった。米金利上昇でドルが買われ円相場は一時1ドル＝144円後半まで下落した。インフレ懸念による金融引き上げが継続するなか、米国景気は減速が目立ち出し、8月の米国の購買担当者指数（PMI）は総合45.0と前月から2.7ポイント低下した。新型コロナウイルス禍で経済が低迷した2020年5月以来、2年3ヵ月ぶりの低水準になり、好不況の分かれ目となる50を2ヵ月連続で下回った。高インフレによる需要の減退や採算悪化で企業心理は冷え込みだしている。8月23日発表の米新築住宅販売は前年同月比29.6%減の1万1000戸と5ヵ月連続の減少となっている。米金融大手のゴールドマンサックスは9月12日に数百人規模のリストラ実施を計画していることを公表し、市場の低迷に対する始め出した。米スタンフォード大学の研究者の発表によれば、2022年7月までに労働人口の3分の1にあたる5700万人以上が感染し、米国の労働人口が約50万人減少した。生産年齢人口（15～64歳）人口の内約25万人が死亡したことを明らかにしている。6月末には米預金の減少幅が3月末に比べて3700億ドル減少し、四半期ベースでは過去最大となった。インフレを押さえ込むのか、景気減速に対応した政策に転換するのか、まだまだ難しいかじ取りが続きそうだ。6月17日のダウ平均株価の安値29653ドルを守り切れるかが最大のポイントである。

2、今月の映画より：「アキラとあきら」

8月の映画観賞数は8本となり、通算では74本と目標の80本（月10本）からは大幅に足りない状態で、9月の大幅な挽回を考えている。8月で印象深い作品は、「ジュラシック・ワールド」、「異動辞令は音楽隊」、「アキラとあきら」の3作品である。「アキラとあきら」は池井戸潤の同名小説の映画化である。同作家は「半沢直樹」「陸王」など数々のベストセラーを生み出している。その映像化作品はどれも大ヒットを記録し、いまや「池井戸ワールド」の勢いは衰えていない。父親の経営する町工場が倒産し過酷な運命に翻弄され銀行マンとなった〈アキラ〉、大企業の御曹司で次期社長の椅子を拒絶し銀行マンとなった〈あきら〉、この二人は同期入社ライバルとし反目し合いながらも、ライバルとしてしのぎを削る。その二人の前に〈現実〉という壁が立ちはだかる。〈アキラ〉は自分の信念を貫き左遷されるも、左遷先での活躍により本店に返り咲く。一方、父親の突然の死により、拒絶した筈の父が経営する企業に立て直しの役目を負って社長に就任する。この大企業の倒産の危機を〈アキラ〉の提案により、危機を突破、感動の大逆転劇に胸を打たれます。

★★

2022年10月、11月のイカスのイベント情報

★★

株式投資勉強会：

10月05日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

10月11日（火）：16：00～イカス投資塾、イカス事務所

10月13日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

10月15日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

10月27日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

11月02日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

11月08日（火）：16：00～イカス投資塾、イカス事務所

11月10日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

11月19日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

11月24日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

イベント情報：

イカス冬の交流会：12月8日午後6時、外国特派員協会

オペラ歌手：稲垣貴子氏（二期会）、ピアノ演奏：徳永洋明氏

講演：夕刊フジ主催「5月グランプリ獲得」：古賀真人氏（個人投資家）

懇親会時演奏：古賀真人氏（ピアノ）＋岩橋格（バイオリン）

10月22日（土）午後2時より第2回「日経を読む技術、活用する技術」、

毎月第4土曜日連続6回 講師：山本博幸（帝京大学講師）、イカス事務所
サロン・ド・知久（交流会）

第9回：22年10月28日（金）：18：00～21：00、倶楽部エル

カラオケ会、3時間、食事＋飲み放題、6500円

第20回：22年10月19日（水）14：00～16：00、イカス事務所

講師：鈴木玲、やさしさのスイッチ

第21回：22年11月09日（水）10：00～14：00 横浜歩く会

散歩の後は食事会13：00～（老舗スキャンディア）、

講師・引率：三宅あみ氏（三越カルチャースクール等で活躍）

第22回：22年12月14日（水）OR21日（水）14：00～16：00、イカス事務所

紙芝居＋朗読会、オーヘンリー作「賢者の贈り物」

第23回：23年01月25日（水）：講師：市川光男（元ビクター国際部、現フランス倶楽部

散歩の会主催、ユーチューバー、「生涯学習 一日一生」

☆イカス投資塾・経済セミナー参加費 3000円、知久サロン参加費 2000円

- ★無料メルマガ毎月 25 日配信
- ★有料メルマガ毎週（日）配信、年間 24000 円、3 ヶ月 6000 円
- ★ツイッター：「ムッシュ望月」毎日更新（政治経済・株式投資・映画）
- ☆イカス投資塾・経済セミナー参加費 3000 円、知久サロン参加費 2000 円
info@toushi-club.com <http://www.toushi-club.com>
- ☆「10代で見につける株式投資の基礎知識」電子書籍発売中（アマゾン）
セブンイレブンネット書籍：<https://7net.omni7.jp/detail/>